



特集 「雪で困る人を、地域で守る。～雪とともに生きる黒部の課題と未来～」

地域の今を届ける密着レポート／さつまいもでフルコース料理作り
イベントpick up!／囲碁・将棋大会
連載／ふくしスマイル・ワーカー
etc.

【編集・発行】 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 平成26年2月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター
介護予防通所事業
生き生き倶楽部



時間/9:30~15:00
参加無料!
対象/65歳以上の方

※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
	栄養教室	体操		栄養教室	体操	
9	10	11	12	13	14	15
	健康体操		健康体操	健康体操	健康体操	
16	17	18	19	20	21	22
	新川荘			新川荘	新川荘	
23	24	25	26	27	28	1
	ヤンバイ映画館 体操	ヤンバイ映画館 体操		ヤンバイ映画館 体操	ヤンバイ映画館 体操	

時間/10:00~ 栄養教室 松平真由美先生 健康体操 石田みどり先生

くろべ

[場所] 黒部市福祉センター
介護予防のための
元気はつらつ体操教室



時間/10:00~11:00
参加費/300円(入館料のみ)
対象/65歳以上の方

※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
		健康体操B	健康体操B	健康体操A		
9	10	11	12	13	14	15
				ストレッチ	ストレッチ	
16	17	18	19	20	21	22
		ストレッチ	ストレッチ		体操	
23	24	25	26	27	28	1
		健康体操A	健康体操A	体操	音楽	

時間/10:00~ 健康体操A 上田 優子先生 健康体操B 泉 一郎先生
音 楽 畠山 悦子先生 ストレッチ 仁科 在重先生



生きがいヤンバイ映画館

昭和13年作品

愛染かつら

出演:上原 謙・田中 絹代

2月24日(月)・25日(火)・27日(木)・28日(金)

時間/13:00から 入場無料!

場所/黒部市宇奈月老人福祉センターにて

編集後記

お気に入りには愛本橋の雪景色。水墨画のような周りの山々に赤い橋が美しく映えます。市内の雪の量は場所によってかなり差があります。特集の取材を通じ、自然の豊かさと厳しさの両方に対する支援が求められているように感じました。

編集 中野

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会
http://www.kurobesw.jp/hello.html

●本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)
Eメール kurobesw@ma.mrrr.jp

●宇奈月支所 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111
TEL・FAX.(0765)65-9533
Eメール u-shakyo@ma.mrrr.jp

どこでもヤンバイ映写会

来て見てヤンバイ映画館に行くことができない方を対象に、「どこでもヤンバイ映写会」を開催しています。

- 山間部など遠くにお住まいの方
- 体などの理由や障がいがある方

お問合せ
ください

2月の来て見てヤンバイ映画館はお休みです

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談

弁護士と法律相談

黒部市福祉センター 2月4日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館 2月14日(金) 13:30~15:30
(宇奈月町浦山2100-2)

黒部市福祉センター
2月18日(火)
13:30~15:30

ご予約不要です

予約受付 2月3日より



今月の湯

2月1日(土)~9日(日) プラセンタの湯
2月11日(火)~16日(日) アロマラベンダーの湯
2月18日(火)~23日(日) 梅の湯
2月25日(火)~28日(金) みかんの湯

誕生日のお祝いに
センターの入浴券の
贈り物はいかがですか?
11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください。

ちょこっと情報 [黒部市の人口] 42,093人 [65歳以上の人口] 11,964人 高齢化率 28.3%
H26.1.1 現在(外国人を除く)



特集

雪で困る人を、 地域で守る。

雪とともに生きる黒部の課題と未来

富山は、 全国3位の積雪量

12月から3月にかけて、
毎年のように降り積も
る雪。今回の特集では、
黒部にとって生活の中
では切っても切り離せ
ない、「雪」について考え
ていきます。

富山県を含む日本海側は、世界でも有数の豪雪地帯。(図1)その原因は、西高東低の冬型の気圧配置に伴い大陸から渡ってくる冷たく乾いた季節風が、日本海の温かい海面(真冬でも10℃以上)から熱と水蒸気をもらい、多量の積乱雲をつくり出すことです。雪おこし・ブリおこしなどと呼ばれる北陸特有の冬の雷も、この積乱雲の産物です。

富山地方気象台では、「富山県の年間降雪量は、昔に比べると減ってきています。しかしながら、一度にドンッと降る大雪は、過去と同様に周期的にあります。現在は、大雪に対する特別警戒情報というものも発信するようになりました。」と話します。



小学生の背丈以上に雪が積もった内山地区の通学路

過去には、38(昭和38年/通称サンパチ)、56豪雪(昭和56年/通称ゴウロク)など、平野部でも2mを超える積雪があることもありました。現在は昔に比べると、除雪の体制や融雪装置、また気象台からの警戒情報など雪に備える体制は整備されていることを普段の生活でも実感されていると思います。

高齢化社会と 雪の関係

黒部市全体の高齢化率は28.3%ですが、市内の各地区別に見ると1番高い地区は40%を超えているところもあります。屋根雪下

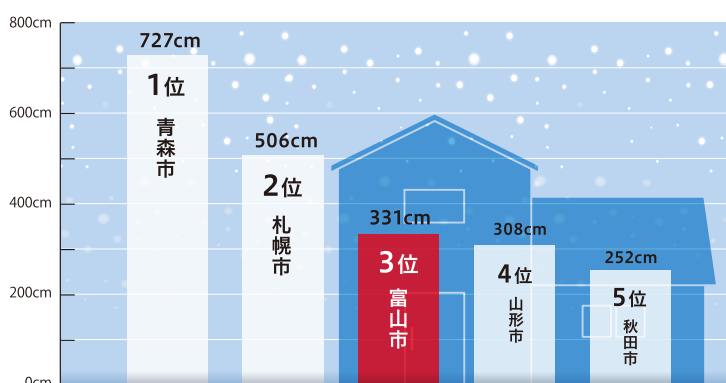


雪が屋根まで積もっています!

大人の身長程の高さの除雪は重労働です

「東布施一斉雪かきDAY」でのボランティアの皆さんによる除雪作業の様子。1m以上も積もった雪は家の1階部分を覆い、屋根雪とつながっていました。

図1 道府県庁所在地の累計積雪量 昭和55年から平成22年の平均値



参考:富山県WEBサイト「とやま雪の文化」より <http://www.pref.toyama.jp/sections/1711/yuki/>

等)の方を民生委員や地域住民が声掛けやゴミ出し、買い物代行などの日常生活でちょっと困ったことをお手伝いするチームをつくらせて活動しています。黒部市内全地区で133チーム、263名のメンバーが活動に携わっています。支援項目の一つである除雪活動は、昨年度194回の活動実績がありました。生活していく中で除雪は大きな課題の一つとなっていることがうかがえます。

ろしや除雪作業も自分たちの力だけではできない高齢者世帯も増え、それを支える地域の担い手も高齢化しているという実情があります。内山地区の山本秀治自治振興会長は、「屋根雪下ろしは年2〜3回。狭い道路がさらに狭くなり通勤や通学の道幅を確保するので一杯。雪の捨て場もなく、川に捨てると川があふれてしまうので、今年から空き地に持っていくように計画しています。隣近所が助け合いながら除雪していますが、一人暮らし高齢者宅や50軒程ある空き家まではなかなか手が回らないのが現状です。ボランティアの協力など地域での対策やルールを考へなければならぬですね。」と、大雪の大変さを語っています。雪害に対する支援は毎年の課題であり、行政は、除雪体制の整備や一人暮らし高齢者等に対する屋根雪下ろし経費の補助などを行っています。一方で、地域では地区自治振興会や地区社会福祉協議会、民生委員などの協力のもと地域の共助の力で、この課題に取り組んでいます。また、黒部市社会福祉協議会(以下社協)では見守りネットワーク事業やケアネット事業など重層的な支え合いのしくみの整備を進めています。ケアネット事業では、地域の要支援者(高齢者・障がい者

赤い羽根は、じぶんの町を良くするしくみ

市社協では、地域の自助、共助を支えつつ、市内でのボランティアネットワークを目指し、沿岸部の住民が高波や浸水で困ったときは、山間部の住民が助けに来てくれる、山間部に雪が降れば、沿岸部からというように助け合いのネットワークが構築できるような体制づくりに取り組んでいます。

もちろん、様々な活動には財源となる資金も重要です。そこで生まれたのが「あったか雪募金」です。

赤い羽根共同募金、全国初のモデル事業（中央共同募金会指定）として、赤い羽根共同募金の期間延長（※1）の活動として雪をテーマにして募金を募りました。（図2参照）



この募金は、地区や町内またグループで地域の困っている人々を助ける雪かきグループの活動費や資材の購入費、また、大雪が降る豪雪地帯での一斉雪かきDAYの開催費などに活用されます。雪で困る人に対して「あったか雪募金」に募金をしたり、ちよっと困っているなど思ったら近所の除雪をお手伝いしたり、できることから雪の助け合い運動を始めることができます。

あったか雪募金、誕生秘話

あったか雪募金は、集まった募金をお金という形で直接困っている人に渡さないで、間接的に支援するしくみにしました。それには理由があります。平成18年の大雪の時に社協職員が雪かきボランティアとともに活動をしていた際に掛けられた言葉からでした。

「いえ、まだ時間もあるし、もう半分もやってしまいますよ。心配しないでください。」と答えたところ「実はね、全部下ろしてもらうと息子が帰って来なくなってしまうからいいんですよ。」と。つまり、ボランティアや外からの力でなくても

解決してしまうと、息子や家族、周りの人々が、自分たちがしなくても誰かが助けてくれる、そう思ってしまうと自助や共助の力がどんどん弱くなってしまおう。それでは本末転倒だ、ということにハッと気づいた瞬間でした。

このようなことから「あったか雪募金」は、地域の自助や共助を進めるような活動や人を支援していくことになったのです。

昨年一斉雪かきDAYを開催した東布施地区の中田新作地区社協会長は「東西に長い東布施内では雪の積もり方は全然違いますね。多いところでは屋根雪を下ろすと地面の雪と繋がってしまうほどです。その雪をずらすには人手がいりません。昨年多くのボランティアの皆さんにご協力いただいたことは、本当に大きな力になりました。また、私たちが改めて地区のことを知る良ききっかけになりました。行政には融雪装置や除雪体制のことを要望しながらも、地域としてできることには取り組んで行かなければなりません。『歳を取ると大変で、ここには住んでいられない。』そう言う地域を離れていくことにはしたくないという強い思いがあります。今は、東布施独自で地域の方々が除雪グループを作り屋根雪下ろしなども行っています。行政、社協、地域との連携をうまく活かしながら地域の支え合いをつくっていき

いと考えています。」とその活動への思いを語ります。

雪は、黒部の宝でもある

これまでは、雪の大変な面の話ばかりでしたが、雪は必ずしもわずらわしいものではありません。山に降る雪解け水は、長い歳月をかけ黒部川の扇状地に湧き出る清水（しよんず）となり、名水百選に選ばれる美味しい水がさらにおみややお酒など様々なものを生み出します。また、宇奈月温泉で行われる、雪に親しむイベント「雪のカーニバル」やスキー場なども冬の楽しみの一つです。



スノーパークでソリ遊びを楽しむ親子

宇奈月温泉スキー場の運営に協力している市民団体「宇奈月大原台」の中島昭彦理事長は、「宇奈月温泉で生まれ育った私は、子ども

の頃、駅からリフト乗り場へ大勢のスキー客が歩いて行く光景をよく覚えています。雪に親しみ雪遊びに夢中だった私たち同様、雪が好きなお子が増えてほしいです。スキー場では、キッズパークやスノーシュー、スノーモービルなど冬の楽しみ方も増やしています。真冬の郷土の良さを知り、身近にある大自然を体感してほしいですね。」と話します。市社協は、「雪が降っても大丈夫！地域みんなで協力するから！」そんな言葉がでるような黒部を目指して、地域の力を育み、支えていきます。

＊お知らせ

「雪のイベント情報」

● 2月1日(土) 第68回 雪のカーニバル

黒部・宇奈月温泉観光局 <http://www.kurobe-unazuki.jp>

● 2月9日(日) スノーフェスタ2014

宇奈月スノーパーク <http://www.unazuki.com>

「参加者募集のお知らせ」

● 2月22日(土) 一斉雪かきDAY開催

【お申込み・詳細はホームページから】

黒部市社協事務局 <http://www.kurobesw.jp/hello.html>

※1 通常10月～12月の期間を厚生労働省から指定を受け1月から3月まで延長

図2 雪とともに暮らす人たちを支える「あったか雪募金」



写真レポート 2
2014年に向け
干支のマスコットを作りました



12月19日(木)―黒部市福祉センター 研修室
7名の参加者が、元気づくり事業「趣味講座」のメニューの一つとして、干支のマスコット作りをしました。

写真レポート 1
参加者みんなで楽しく
さつまいも料理作り!



11月27日(水)―大布施公民館 調理室
元気づくり事業「ランチクラブ」では16名の参加者が「さつまいもでフルコース料理」を作りました。

ふくし
スマイル
ワーカー

スマイル
Vol.2



すてっぷサポート わんぱく工房 管理者
社会福祉士

岡田 有里子 さん (38歳)

放課後や夏・冬休み中に障害児を預かり
おやつ作りや外遊びなどの余暇活動をサポート

“つなげる”がキーワード

「障害をもつ子どもたちと関わりたい」と教職を目指しますが、学校以外の生活全般が気にかかるようになり、地域に根付いた通所施設へ就職。ご本人や家族のニーズをまっすぐに受け止め、どのような支援が1番良いのか、柔軟な発想でもとに対応を考えます。

「最近では“つなげる”がキーワード。利用者さんの思いや関係機関との連携、スタッフ間の引き継ぎなど、確実に次へつなぐことを大切にしたいです。」と、熱く語ってくれました。

イベントpick up!

囲碁・将棋大会

平成26年 3月7日(金)・14日(金)
9:30~15:30

会場 黒部市福祉センター 大広間
参加対象者 黒部市内在住 概ね60歳以上の方
参加費 1,500円
(2日間の入館料と昼食代を含みます)

参加受付:2月6日(木)~3月4日(火)
黒部市福祉センターまでご連絡ください

入賞者には
豪華景品
プレゼント

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

- 若田 勇 様(三日市)
- 黒部商工会議所女性会 様
- 本波 すみ子 様(浦山)
- 荻生民生委員 様
- 故 早川 ハル 様(下立)
- 黒部民謡清韻会 様
- 柏井 一浩 様(下立)

催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター

利用時間 8:30~16:30 入浴時間 10:00~16:00

2月の催し物

2日(日)	あおいばらサークル	10:30~
7日(金)	シャンソンショー	10:00~
8日(土)	にこにこまつり	8:30~
11日(火)	シャンソンショー	10:00~
15日(土)	こぶしカラオケ愛好会発表会	10:30~
22日(土)	黒部民謡友の会	10:30~
23日(日)	はまなすカラオケ踊笑の会	10:30~
25日(火)	黒部市老連歌謡サークル	10:30~

休館日 3日(月)・10日(月)・12日(水)・17日(月)・24日(月)
※2月12日(水)は建国記念の日の振替休館となります。

3月の催し物

1日(土)	みまもり員感謝の集い	
7日(金)	囲碁・将棋大会(1日目)	9:30~
9日(日)	魚津カラオケ友好会	10:30~
11日(火)	松の会くろべ	10:30~
14日(金)	囲碁・将棋大会(2日目)	9:30~
15日(土)	歌謡パラダイスふれあいショー	10:30~
23日(日)	日本海歌謡研究会歌と踊りの祭典	10:30~
26日(水)	シルバー人材センターカラオケ	10:30~

休館日 3日(月)・10日(月)・17日(月)・22日(土)・24日(月)・31日(月)
※3月22日(土)は秋分の日振替休館となります。

活動レポート 1
桜井高校コンピュータ部がサポート
伝える力を学んで、地域活動に活かします

黒部市社会福祉協議会では、福祉・ボランティア団体やNPO法人などの課題の一つである広報・コミュニケーション力の向上を目指した事業に取り組んでいます。

この事業の一環として「ワードでチラシづくり講座」「パワーポイントでプレゼン講座」を桜井高校コンピュータ室で行いました。若い世代のスキルを活かし新たなボランティア活動をすすめるためご協力いただいています。コンピュータ部1年の惣万雄介くんは「大人と一緒に教えたり教えられたりして良い経験になった。楽しかったので、また参加した



「と話していました。また、テックスリーブの事務局を担う日本NPOセンターとともに説明会を同時開催。高校生からの支援を含めたモデル的な取り組みは全国初として黒部市で実施しています。講師を務めたPCTO O L能登貴史氏は「社会福祉協議会だけで講座を完結するのではなく様々な団体と協働している。活動が活性化され、おもしろい取り組みだ。」と話しました。

当会では今後も黒部の地域福祉活動を支援する事業を展開していきます。

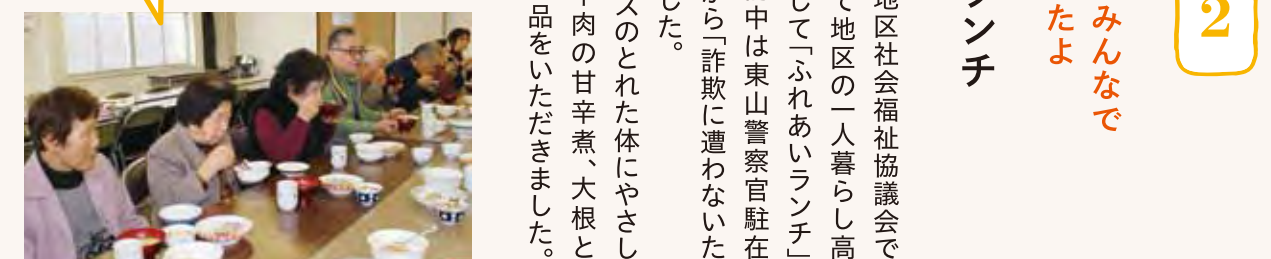
テックスリーブとは
NPO法人や社会福祉法人など社会問題の解決にむけて活動を行う団体を応援するパソコンソフト寄贈仲介プログラムです。マイクロソフトやシマンテックなどが社会貢献活動として製品を無償提供しています。
<http://www.techsoupjapan.org>

活動レポート 2
おいしいランチをみんなで
食べて元気になったよ
浦山ふれあいランチ

11月26日(火)浦山地区社会福祉協議会では浦山地区公民館にて地区の一人暮らし高齢者など20名が参加して「ふれあいランチ」を開催しました。午前中は東山警察官駐在所の森明広巡査部長から「詐欺に遭わないために」とお話がありました。

昼食は、栄養バランスのとれた体にやさしい献立。さといもと牛肉の甘辛煮、大根とじゃこのサラダなど5品をいただきました。

一人暮らしの河村美奈子さんは「いつも一人で食べているから、みんなで食べると美味しいわ。」と、「ニコニコ」と話されました。



市食生活改善推進員浦山支部が作った料理を楽しむ参加者